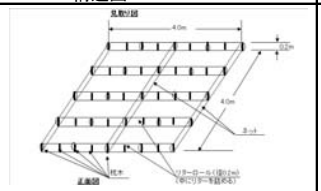
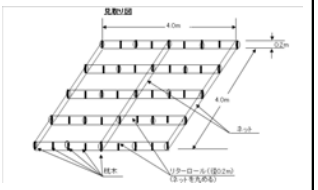
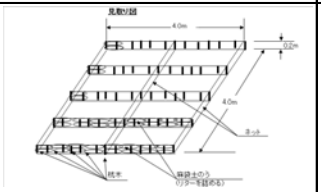
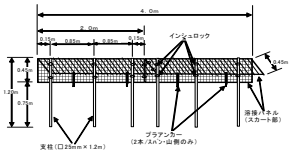
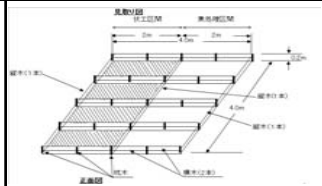
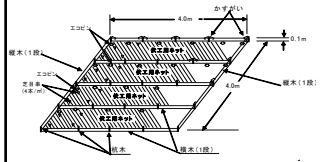
H18試験施工における単体手法の改良

手法区分
- ①リター　（リターを捕捉し留めることにより侵食を防ぐ）
- ②勾配・被覆　（勾配緩和及び地表面被覆により侵食を防ぐ）
- ③植生　（シカを排除し植生を回復させることにより侵食を防ぐ）

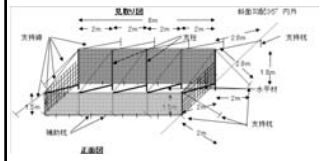
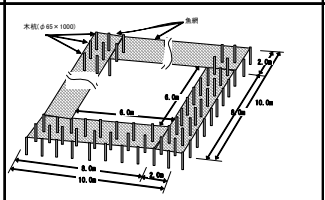
手法区分　①リター

		構造図	施工例	バリエーション
H17施工	ネットタイプ			
	ロールタイプ			・リター中詰め ・ネットのみ
	土のうタイプ			・麻袋土のう ・竹繊維土のう
H18施工	金網タイプ			

手法区分　②勾配・被覆

	構造図	施工例	バリエーション
H17施工			・ヤシ繊維 ・竹繊維
H18施工			・ヤシ繊維 ・竹繊維

手法区分③植生

		構造図	施工例	バリエーション
H17施工	急斜面用保護柵			・従来製品 ・イノシシ柵 ・特注品
H18施工	ネット被覆			

手法の改良・開発にあたっての基本的な考え方

1、自然力の活用　（毎年供給されるリターの活用など）
2、天然素材の利用　（環境負荷を最小限にする）
3、景観との調和　（自然公園としての景観を損なわないように）
4、維持管理の容易な構造　（一部の破壊が侵食の拡大とならないように）

試験施工のねらい

侵食軽減効果の確認とともに、施設の強度や耐久性、施工性など